

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

| | | | |
|-----|----------|------------------|---------|
| 学校名 | 県立二宮高等学校 | 課程・学科 教育部門・学部 | 全日制・普通科 |
|-----|----------|------------------|---------|

1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力を育成し、豊かな人間性や社会性を培い、社会的に自立する人間を育てる学校づくりに取り組む。

教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

また、「インクルーシブ教育実践推進校」として、共生社会の実現をめざし、知的障がいのある生徒が高校教育を受ける機会を広げながら、教育課程や進路支援の研究開発、実践に努め、すべての生徒が共に学び相互理解を深める教育を推進し、「インクルーシブな学校」づくりに取り組む。

これまでも、地域社会や国際社会に広く貢献し、調和のとれた人格を有し、明るく豊かな人間性をもつ人材の育成をめざし、生徒一人ひとりにきめ細かい対応をするとともに、生徒自らが課題を発見し解決する力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うことをめざした教育活動の推進に努力してきた。今後は、これまでの取組に加え、時代に求められる資質・能力の育成に向け、さらなる教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- 確かな学力の定着を図るとともに、自ら学び、主体的に考え判断し行動できる人間を育成する。
- 教育活動を通じて気力や体力を充実させるとともに、他者を尊重し多様性を認め合う、思いやりの力を育てる。
- 明るく豊かな人間性を育み、地域に貢献できる人材を育成する。

3 計画策定時点での課題

- 探究活動が活性化されていない。「総合的な探究の時間」を中心に教科横断的な取組を進め、探究活動を活性化する必要がある。
- 生活指導体制が整っていない。生活指導について、生徒へのルールの周知徹底と指導方針等に係る職員の共通理解を図り、全職員による指導体制を整える必要がある。
- 生徒の進路意識が向上しない。3年間を通した進路指導の在り方を見直すとともに、生徒の進路意識を高め、自身の適性を見極める力を育てていく。
- 学校のPRが十分でない。ホームページの活用に加え、地域貢献活動（防災、ボランティア）や学校説明会等で生徒が本校をPRする機会を増やす等して本校の魅力を県民（中学生）に伝えていく。
- 地域連携が深まらない。本校全体の取組として地元の小中学校との連携を深めていく。
- インクルーシブ教育推進体制を確立させる。担当G教員とその他の教員との知識・意識のギャップをなくすこと、「くらす・はたらく」の授業内容の改善、TTのあり方検討など、課題を一つひとつ解決し、インクルーシブ教育を更に推進していく。
- 部活動の加入率が低い。担当Gを中心に加入率を高める工夫・対策が必要である。

4 4年間の目標と主な方策

| 視点 | | 4年間の目標 | 目標達成に向けた主な方策 |
|----|---------------------|---|---|
| 1 | 教育課程 学習指導 | <ul style="list-style-type: none"> ○生徒が課題を発見し、探究して課題を解決する力を養えるような教育課程を編成する。 ○学ぶ意欲や探究心を高めるための授業改善に取り組む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着に主眼を置き、社会で生き抜くための人間力を高める。 ・生徒の多様なニーズに合致した、実践力を高める授業、学習の質の向上、個別最適化を目指し、外部資源やＩＣＴ等の利活用に積極的に取り組む。 |
| 2 | (幼児・児童・) 生徒指導・支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の確立と支援教育体制の充実を図る。 ○生徒の主体的な活動を支援し、豊かな人間性やコミュニケーション能力を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・規範意識を高めるためにルールやマナーについて、生徒一人ひとりが自分事としてとらえられるようにきめ細かい指導をチーム学校として取り組む。 ・生徒の部活動加入促進及び各行事への積極参加を実現するための改善を行う。 |
| 3 | 進路指導・支援 | <ul style="list-style-type: none"> ○生徒が主体的に進路選択し、自ら将来を切り開く力を育成する。 ○生徒一人ひとりの可能性を伸ばし、多様な進路希望の実現を支援する。 ○キャリア教育を充実させ、より良く生きる能力を育成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間や多様なキャリア教育、個別面談・指導等を通じて生徒の自己理解と進路に対する前向きな姿勢の育成を図る。 ・インターンシップを推進するとともに、受入先の事業所を開拓する。 ・外部機関と連携し、キャリア教育を充実させる。 |
| 4 | 地域等との協働 | ○地域との連携・協働の充実を図り、信頼される学校づくりを推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献活動、地域行事への参加、地域伝統文化への参画を通して、地域とともに教育活動を推進する。 ・ＰＴＡや外部機関と連携し、ボランティア活動の機会の充実と奨励を行う。 |
| 5 | 学校管理 学校運営 | <ul style="list-style-type: none"> ○働き方改革を推進するとともに、事故不祥事防止を徹底する。 ○防災教育と安全安心な学校づくりを推進する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・必ず複数名で業務にあたる。 ・成績・会計等の点検業務は校内マニュアルに基づいて組織的に実施する。 ・防災訓練や DIG 研修等、防災教育を工夫・充実させる。 |